

備北・センター だより

発行所

三次市十日市東三丁目 14-1

三次市福祉保健センター1F

一般社団法人備北地域生活支援協会

備北障害者就業・

生活支援センター

TEL. (0824)-63-1896

発行人：谷口光治

・まずは、シンセイアート株式会社
の会社概要からお聞かせください。
印刷情報産業の新しい
風をテーマに、小規模印



シンセイアート社屋正面



職場拝見

今回は庄原市新庄町の工業団地内に本社・工場があるシンセイアート株式会社を訪問し、全国的にも珍しい形での会社設立など含めて塩本社長に話を聞きました

刷会社3社の合併による
新会社を1990年1月
に立ち上げました。
地方、零細、旧式、脆弱な経営資源、そうしたハンディをもともせず、自らが変えていく、新しい風を吹かすのだとブラ
スィメージだけを膨らませ、挑戦し続けています。
●会社としてのグループ、統合化と社員持ち株制度による会社の誕生。
●中国自動車道庄原ICより3分という好立地な

県営庄原工業団地への進出。
●1300坪の土地に広い駐車場と作業効率、快適性を重視した工場。

●絶えず技術力、設備力のアップでスピード化、高品質化、ローコスト化を目指したデジタル環境の整備。
●どんな印刷物でも自信をもって自社内対応するための各種印刷・製本機の充実したラインナップ。
●オフセット4色印刷機等、最新設備の充実によるカラー化対応。

当社はこれからも印刷・情報という本業に徹底的にこだわり、日々更なる可能性を追求して「進化」を「成」してまいります。

・従業員数は何名ですか。
本社工場、3営業所合わせて現在36名です。



最新鋭の印刷機器が並ぶ印刷現場

・障害者雇用に関してのお考えや配慮などありましたらお聞かせください。
障害者雇用だからと特別な配慮はありません。
皆それぞれ長所短所があり、また生活環境もシングル家庭、介護の必要な家族が居る家庭、そして子育て世代、高齢者などいろいろです。それを皆が補い合って、家族的にわかり合えて人に寄り添え、誰もが働きやすいと思える職場環境作り、個人個人でいろいろな役割をもって楽しく働いて活力のある会社作りを心がけています。

・片山さんについて一言
お願いします。

片山さんが特別ではなく誰もが初めての就労では8時間会社に居るだけでも大変だと思えますので、仕事に慣れるまで指導や相談できる人を付ける体制を取っています。

片山さんは非常に明るく、自分から溶け込もうとしているので皆から可愛がられています。また、仕事においても作業範囲が増えてきており徐々に戦力になってきています。

・ナカポツセンターに要求事項があれば一言。

本人も会社に言いにくい事などあるでしょうし、悩みごとを抱えて孤立しないよう定期的な見守りをお願いします。

・ありがとうございます。定期訪問実施しました。

私たち
羽ばたいています

・片山さんは昨年4月に入社し1年6カ月を経過しましたが社会人となつての感想をお伺いします。

働くということが学生の時思っていたことと違い大変だけど、皆優しく接していただけたので楽しく仕事ができています。
・仕事をするうえで気を付けていることはありますか。

ミスが出ないように気を付けて作業しています。



作業指導を受ける片山さん



折機からの商品整頓中

・仕事を始めて良かったことや変化はありましたか。また、長く続いている要因は何ですか。

初めのころは体調を崩すことがありましたが、早寝早起きなど生活環境を整えることで体調を管理できるようになってきました。

・休日等余暇にやっておられることはありますか。
友達と遊んだり、部屋でくつろいでいます。

・ありがとうございます。センターでは在職者交流会など行っているののでぜひ参加してみんなと交流を深めてください。



平成28年も残りわずか、皆さんはどのような一年でしたでしょうか？

今年の冬は雪が多いと予報もあり早めにスタットレスに履き替えます。

4月からの2台の公用車の走行距離が2万キロ超え、本州縦断2千キロと言いますから往復位に相当します。これから雪道やアイスバンの走行が始まります。

さて、備北センターは、圏域人口が減少していること、企業数が少ないこと等が障害者雇用の実績に影響していますが、さらに支援の輪を広げるた

め、今年度から就労・定着支援推進会議を設けて新たな取り組みを始めています。

例えば、年4回の推進会議ではハローワーク、精神科病院、相談支援事業所、就労移行支援事業所、保健行政、地域包括支援センターから障害者雇用に関する報告をしていただき、平成30年に向けて障害者が働くことへの支援体制を整えるよう取り組んでいます。その一環として障害者雇用

熱心な企業視察もしていきます。また在職者交流会で試行的に始めたWRA P(元気回復行動プラン)のワークショップには多くの参加があり、「いい感じの自分」をイメージできる場になっています。
平成29年は酉年、目標に向かい羽ばたいいきます。 (谷口)

平成28年7月以降の備北センター主催研修内容を報告します。

①平成28年度障害者就労・職場定着支援研修会を開催した。

会場：三次市民ホール

「きりり」

日時：平成28年

9月9日 13時から



障害者雇用促進法の改正から半年が経過し、平成30年には法定雇用率

算定基礎に精神障害者が

加えられる。一般就労を

する精神障害者や発達障

害者が増えてくる中、備

北圏域における職場定着

の効果的な推進のため、

当事者やその家族、企業

や支援者などがともに働

くことについて考える場

を持った。

情報提供

・広島労働局

雇用分野における障害

者差別禁止・合理的配慮

の提供義務について

・広島県障害者支援課

障害者総合支援法及び

児童福祉法の一部改正に

ついて

・広島障害者職業センタ

ー

広島障害者職業センタ

ーの取り組みに関するの

情報提供があった。

講師 就労支援センター



講演中の大江さん

FLaT 大江ん隊長

大江祥博さんより「働き

ながらいきいきと生きる」

との演題で講演があった。

第一部でこれまでの自

分の状況を話される。

大江さんは島根県出身

卒業後IT企業でシステ

ムエンジニアとして働い

ているとき、過酷な仕事

環境から次第にうつ症状

を発症し、最終的に統合

失調症を発症してしまい

幻聴と被害妄想で入院治

療の後デイケアに通いな

がら療養されその後、デ

イケア内にできた就労グ

ループで訓練をされる。

現在は就労支援センタ

ーFLaTで自分が経験

してきた病状や悩みや就労経験を基にピアサポーターとして相談に乗って

おられる。

第二部では「障害者として働きながら思うこと」

「社会に対して思うこと」

「働くことのメリット」

の話の後、「現状では精神

障害者が一般企業で働く

環境が少しずつ整い始め

やっとスタート地点に立

ったところ」とまとめら

れた。

その後の質疑応答では

当事者の方やその家族、

支援者から沢山の質問が

ありそれに対する応答が

あった。

参加者は約100名弱で

参加された方からはとて

も有意義な研修であった

との声が多く聞かれた。



②平成28年10月20日に

備北ナカポツ主催の障害

者就労・定着支援推進会

議メンバーを含む総勢26

名で福山、尾道地域の障

害者雇用先進企業の視察

研修を行った。

①22名の障害者雇用を

されている(株)イー・

アール・ジャパンを視察

し、②(有)メタルワーク

福山の大植代表取締役か

ら障害者雇用への考え方

などの講演をいただいた。

③8名の障害者雇用をさ

れている(株)ハートコー

プおのみちエコセンター

を視察後帰路についた。



参加された皆さんからは就労・定着支援について非常に参考となったとの意見が多くあった。

センターの窓

①平成28年7月12日
場所：広島労働局
『28年度第1回雇用移行推進連絡会議及び精神障害者雇用支援連絡協議会』 1名参加
近年増加している発達障害者の就労支援と定着支援について各機関から情報提供があった。
・精神科医と労働局連携によるモデル事業
・広島市ハローワークの発達障害者プログラム
・広島市特支の状況や他大学における取組など

テラン担当よりアドバイスがあり、その後各センターより重点取り組み事項について報告があった。

③平成28年7月20日～8月25日 4日間
『相談支援従事者初任者研修会』
場所：広島国際会議場
参加：1名
ケアマネジメントの基本、概論から実践まで演習を交えて学んだ。

④平成28年8月3日～9月23日 4日間
場所：広島市南区
参加：1名
『ジョブコーチ養成講座』
就労支援の進め方から訪問型職場適応援助者養成講座受講の後、企業で

現場実習を行った。
⑤平成28年8月24日～31日 3日間
場所：広島市東区
参加：1名
『障害者就業支援基礎研修』に参加し労働関係法規の基礎知識、就労支援プロセスや障害特性と職業的課題など学んだ後企業から障害者雇用の実際の話がありケーススタディ、意見交換を行った。
⑥平成28年8月31日～9月2日
場所：千葉県幕張
参加：1名
『就労支援員スキルアップ後期研修』に参加し前期で学んで取り組んだ内容の課題でケーススタディを行い意見交換を行った。

⑦平成28年10月9日
場所：庄原市
参加：2名
広島県知的障害者福祉



センター業務に係るベ

大会(備北圏域大会)、はつらつ大会(本人大会)(備北圏域大会)が庄原市で開催され、センターからも実行委員として参加した。

センター活動実績 平成28年11月1日現在

- 就職者数 233件 (22年4月から累計)
- 企業実習 141件 (22年4月から累計)

就職先：食品製造、製造業、福祉施設、林業
病院、日用品販売量販店、農業、建設業 etc

センターでは今年度も在職者交流会や当事者のつどいを開催しています。

残る在職者交流会は2月三次で開催。当事者のつどいは1月に三次で開催予定です。

編集後記

今年の秋はカープカープで真赤激。日本一は来年に期待しリーグ優勝の感激と優勝セールの恩恵にまた感謝です。爽りの秋が終わり寒い冬の到来です。今冬の雪の量が心配です。皆さんも事故や体に気を付けられ、仕事に生活に頑張りましょう。

(中河)